

区民意見募集の実施結果（案）

「三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針（素案）」の区民意見募集に対して、多くの皆様から意見等をお寄せいただきました。お寄せいただいた意見等の概要と、ご意見に対する区の考え方を示いたします。

1. 意見募集期間

平成30年10月1日～10月22日

2. 周知方法

区のお知らせ「せたがや」平成30年10月1日号

区のホームページ

閲覧場所（市街地整備課、区政情報センター、各総合支所区政情報コーナー・くみん窓口、各出張所・まちづくりセンター、各図書館）での資料配架

3. 意見提出人数と件数

・意見提出人数：7人（ホームページ5人、持参1人、FAX1人）

・意見数：56件

大項目	中項目	件数
策定の趣旨	策定目的	1
	上位計画等との関係と本基本方針の役割	2
	本基本方針の計画期間	1
駅周辺の特色	まちの個性	8
	都市基盤	4
	今後の可能性	4
駅周辺のまちづくり方針	まちのビジョン（将来像）	1
	方針	3
	実現の方策	17
	三軒茶屋駅周辺を取り巻く社会状況に対応したまちづくりの視点	6
具体的な取組みに向けて	具体的な取組みに向けて	1
	三軒茶屋駅周辺の機能イメージ	3
全体	全体	3
その他	その他	2

4. 意見の概要と区の方針

番号	意見の概要	大分類	中分類	区の方針
1	三軒茶屋交差点付近の歩道拡張、三軒茶屋駅のコンコースの拡大、世田谷線の渋谷までの延伸、茶沢通りのバス運行の見直し、自転車通行帯の整備などをしてほしい。	第3章	方策	本基本方針では、方策2「シームレスな交通結節点の形成」「出会いと交流の空間創出」を掲げており、スムーズな移動・乗り換えの実現、新しいパブリックスペースの創出を目指してまいります。今後策定する個別の方針や計画等において、まちづくりの具体的な取組みを検討し、まちづくりを進めてまいります。
2	歩道が狭く、ベビーカーや子ども二人連れの人が大変である。	第3章	方針	1に同じ
3	歩きたばこの人が多いなど子連れの人は三軒茶屋の駅前を歩きたくないと話しているが、茶沢通りの歩行者天国は助かっている。夜が楽しい街だけでなく日中も安心して過ごせるもっと子どもにやさしいまちになってほしい。	第3章	方針	本基本方針では、方針1「まちの個性を継承・強化する」を掲げており、駅周辺の安全性や防災性の確保に取り組みながら、三軒茶屋らしい空間やバランス、多世代を集める文化・歴史を継承していくまちづくりを進めてまいります。
4	三軒茶屋は近年観光客が増えにぎやかになってきたが、歓楽街や観光地化していくことがうれしくない。 昔からの風情も残して、住民が穏やかに暮らせる温かみのある街を目指してほしい。	第3章	方針	3と同じ
5	区民が交流できるキャロットの展望フロアのフリースペースが減ったことが残念である。	その他	その他	平成28年にスカイキャロット展望ロビー条例を策定し、施設全体を「展望ロビー」として位置づけ、「区民同士の交流を促進したり、区の観光の振興を図っており、区民を対象としたイベントの開催、展望ロビー来場者への一部時間帯を除く東西双方の展望の確保などに取り組んでいるところです。いただきましたご意見は、今後の事業運営の参考にいたします。
6	三軒茶屋交差点を渋谷に近い第二のスクランブル交差点にしたり、三軒茶屋交差点にある大山堂の石碑を三軒茶屋の目印にすることで外国人観光客を呼び込めないか。 また、東急地下鉄の入り口が不衛生な印象があり、三軒茶屋駅構内などに三軒茶屋の案内所があるとよい。	第3章	方策	本基本方針では、方策3「人を呼び込む魅力をつくる」を掲げており、地域資源を活かした観光の推進を進めてまいります。今後策定する個別の方針や計画等において、まちづくりの具体的な取組みを検討し、まちづくりを進めてまいります。
7	交番のフレンドリーな対応をアピールしたい。 茶沢通りでの情緒豊かな縁日や、町に愛着を感じられる店舗の復活は難しいのか。	第3章	方策	3と同じ

番号	意見の概要	大分類	中分類	区のお考え方
8	三軒茶屋のコンセプト、統一感となるイメージが作られると良いのではないかと。	第3章	ビジョン	三軒茶屋駅周辺の魅力あるまちづくりを進めていくために、本方針ではまちのビジョンとして「進化し続ける交流のまち「三茶Crossing」」を掲げております。今後、区民・事業者・区が連携してまちづくりに取り組むことができるよう本方針を区内外に発信してまいります。
9	三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針(素案)につきましては、おおむね内容に賛成である。 三軒茶屋駅周辺はあらゆる世代が安心して住める場所である。 一方で、不便な点、問題点、新しい変化があるため、今後、区と地域の発展に向け、良い点を生かしつつ改善すべきである。	全体	全体	本基本方針について評価を頂き、ありがとうございます。今後、三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針に基づき、まちのビジョンである「進化し続ける交流のまち 三茶Crossing」を目指し、三軒茶屋駅周辺のまちづくりを進めてまいります。
10	方針の構成として、三軒茶屋駅周辺の特色及びまちづくりの視点の両方を分析・提示した上で方針・方策を示す流れではないかと。	全体	全体	本基本方針の検討において、三軒茶屋駅周辺の現状分析を行ない、駅周辺において特徴的な内容を3つの特色に整理しております。その3つの特色から、方針・方策を策定し、駅周辺のまちづくりの基本的な考え方を示しております。具体的な取組みは、個別の方針、計画等でまちづくりの視点を踏まえながらそれぞれの方策を掛け合わせながら検討していくことから今回の構成となっております。
11	まちの個性または、都市基盤の記述に「交通結節点であること」、車・自転車が通る道路と人が通る路地により歩車分離されていることや、緑地が多い「安心のまちであること」を加えたほうが良い。 問題点を「都市基盤」に収斂されていますが、犯罪などについても記述が必要でないかと。	第2章	まちの個性	本基本方針の検討において、三軒茶屋駅周辺の現状分析を行ない、駅周辺において特徴的な内容を3つの特色に整理しております。 ご意見の「交通結節点であること」は、三軒茶屋駅周辺の現状分析を行った中で、特色2として「三軒茶屋駅周辺が古くから交通の要衝として栄え、現在での交通結節点でありながら、都市基盤上の課題が多く残っている」として整理しております。 また、「安心のまちであること」の要素として挙げられた「人が主に通る路地」は、震災や火災などで緊急車両の通行が難しく、防災まちづくりの課題のひとつになっています。また、幹線道路での歩道の狭さも都市基盤の課題の一つとして整理しております。 犯罪については区全域で取り組む内容であり、今回の方針においては、記載しておりませんが、安全安心のまちづくりに取り組んでまいります。

番号	意見の概要	大分類	中分類	区のお考え方
12	<p>市街化された割には緑地が多いことが三軒茶屋の魅力の一つであるため、緑地について別立てで記述すべきではないか。「世田谷ものづくり学校」は方針の検討対象外にあり、三軒茶屋駅から世田谷ものづくり学校や世田谷公園へのアクセス改善について言及しない限り、記述は不要ではないか。</p> <p>機能や位置づけが異なる世田谷公園、ものづくり学校、烏山川緑道の記述をひとつにまとめているのは強引な印象があり、また、その利用を目的とした来街者が多いかは疑問である。</p>	第2章	まちの個性	<p>本基本方針の検討において、三軒茶屋駅周辺の現状分析を行ない、駅周辺において特徴的な内容を3つの特色に整理しております。</p> <p>ご意見の「緑地」ですが、三軒茶屋駅周辺のみどり率は区の平均よりも低い状況です。しかしながら世田谷公園や烏山川緑道など、様々なみどりが点在することが魅力のひとつであることから、ものづくり学校など特色ある公共施設とともに特色のひとつとして整理しております。</p>
13	<p>「活力あるコミュニティ」と「大学と連携した学びの場」は別立てにすべきではないか。また、大学との連携に関しては記述にあるほど活発でなく、ポテンシャルは高いものの、認知度が低く、活用が不十分という記述がふさわしいのではないか。</p> <p>また、記述のほか、昭和女子大学におけるブリティッシュスクール、テンプル大学誘致や、日大の危機管理学部が三軒茶屋に設置など今後、様々な連携が三軒茶屋で実施可能と考える。</p>	第2章	まちの個性	<p>本基本方針の検討において、三軒茶屋駅周辺の現状分析を行ない、駅周辺において特徴的な内容を3つの特色に整理しております。</p> <p>「活力あるコミュニティが存在し、大学と連携した学びの場がある」は、三軒茶屋駅周辺の様々な主体による活動が活発であることを特色として整理しており、その中でも包括協定を締結し、区と連携したまちづくりが期待される昭和女子大学を代表例として挙げております。今後策定する個別の方針や計画等において、まちづくりの具体的な取組みを検討し、まちづくりを進めてまいります。</p>
14	<p>区施設が三軒茶屋周辺に点在しており、また、総合支所が世田谷にあるため、わかりづらく、かつ不便である。</p>	第2章	まちの個性	<p>三軒茶屋駅周辺の公共施設の現状は、基礎データP54に整理し、まちづくりの視点の中で、多数の公共施設が点在する三軒茶屋駅周辺での機能再編の必要性について記載しております。</p>
15	<p>駅周辺に雨の日に子どもを遊ばせる施設や、多目的トイレ、一時保育施設など子育て支援の施設が少ないことが課題ではないか。</p>	第2章	まちの個性	<p>本基本方針の検討において、三軒茶屋駅周辺の現状分析を行ない、駅周辺において特徴的な内容を3つの特色に整理しております。今回の方針においては、個別の子育て支援施策について記載していませんが、区といたしましては、子どもがいきいきわくわく育ちまちの実現に向け、今後も世田谷区子ども計画(第2期)に基づき、子育て支援の充実に努めてまいります。</p>
16	<p>2 都市基盤(1)の記述が不足しているのではないかと。また、高速道路や近隣の道路での渋滞、自転車交通への対応不足、駐車場の不足といった項目を追加すべきではないか。</p>	第2章	都市基盤	<p>本基本方針の検討において、三軒茶屋駅周辺の現状分析を行ない、駅周辺において特徴的な内容を3つの特色に整理しております。</p> <p>本編での特色についての記述は代表的な内容を挙げており、ご意見にある、現状の詳細な内容は「参考資料 基礎データ」P49 三軒茶屋駅周辺の都市基盤整備状況において、道路現況、駅出入口における歩行者空間などで整理しております。</p>

番号	意見の概要	大分類	中分類	区のお考え方
17	2 都市基盤(2)の記述について、駅周辺は木造建築物が密集しており、首都直下地震以前に、日頃からボヤが発生しており、また、延焼の恐れが高いことが問題ではないか。また、「5割近くが防火構造?」とあるが、「防火構造であれば問題ない」との印象を受けるため、必要に応じて言葉を補うとよいのではないか。	第2章	都市基盤	幹線道路沿道建物において、不燃化が進んでいることに対して、駅周辺の建築物に課題がある点を参考資料 基礎データP47築年、P48建物構造を基に示し、今後、防災性を高めていくために、まちを適切に維持・更新を行うことを課題として整理しております。
18	2 都市基盤(3)の記述について、すでに商業系地域はある程度十分にあると感じている。また、問題点が明らかでなく、方針・方策の記述もないことから、削除したほうがよいのではないか。	第2章	都市基盤	<p>今後、少子高齢化、人口減少が進行する中においても、身近な地域で、誰もが活動しやすく、快適に暮らすことのできる環境を実現することが必要です。</p> <p>三軒茶屋駅周辺地区は、都市整備方針において、拠点ごとの特性に応じて、様々な機能を充実させる広域生活・文化拠点として位置づけており、交通の要衝としての強みを活かしながら、まちの個性を継承・強化していくとともに、交通結節点の形成や空間の創出など基盤の整備を進め、新たな魅力を育て機能を高めていくゾーンとして、「Crossingゾーン」を定めております。</p> <p>また、三軒茶屋駅と乗降客数や都心との距離関係が近い都市と比較して、商業地域の範囲が小さく、後背地にすぐ住居系地域が広がっており、現状で三軒茶屋駅周辺の半分以上の範囲で容積消化率50%を下回っております。そのため、機能イメージの中で、後背地の住宅の環境に配慮しつつ、地区のニーズや今後のまちづくりの動きに合わせて方策を展開していくゾーンとして、「住宅地と商業地のバッファゾーン」を位置づけ、三軒茶屋駅周辺のまちづくりの課題として整理しております。</p>
19	3 今後の可能性(1)に、「働く場としての存在感が高まる」とあるが、むしろ「住む場」や「職住近接の場」としての存在感が高まっていると考えるべきではないか。また、渋谷のオフィス供給増は、賃料の低下につながり、三軒茶屋のオフィスも奪われる恐れが高いのではないか。この危機感を受け、三軒茶屋ならではの魅力向上を目指す流れが自然ではないか。	第2章	今後の可能性	<p>三軒茶屋駅周辺は、特色の中で示したとおり、都市基盤に課題を抱えながらも、都心に近接した交通結節点として、継承し、残していきたいまちの魅力があり、暮らす場所としての魅力は現在もあると考えております。</p> <p>今後、長期的な視点、広域的な視点による三軒茶屋駅周辺の都市経営を踏まえたまちづくりを検討する中で、近接する渋谷のオフィス賃料上昇による周辺への企業移転、新しい働き方へのシフト等の社会状況を前向きにとらえ、三軒茶屋らしい、暮らすと働くが両立したまちの実現が三軒茶屋にとって新しい魅力創出につながると考え、示しております。</p>

番号	意見の概要	大分類	中分類	区の方針
20	3 今後の可能性(1)に、「育児しながら就業を継続する女性」とあるが、男性も同様ですので、記述を改めるべきではないか。また、三軒茶屋には「らぶらす」という男女共同参画における拠点があるので、「三茶 Crossing」の一要素として、記述しても良いのではないかと。	第2章	今後の可能性	「育児しながら就業を継続する女性」の記述につきましては、ご意見を踏まえ、「育児しながら就業を継続する人」に修正いたします。また、「らぶらす」の取組みは世田谷区全体として取り組んでいる内容であり、男女共同参画プランに基づき三軒茶屋駅周辺でも取り組んでまいります。
21	3 今後の可能性(2)について、昭和女子大学内にBSTが設置されており、学内や近隣では既に国際交流が始まっている。	第2章	今後の可能性	ご意見の昭和女子大学内にプリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和による大学内や近隣での国際交流に加え、今後テンプル大学の移転を一つの契機として、さらにグローバル化したまちづくりの検討につなげていくため、特色のひとつとして記載しております。
22	3 実現の方策(1)に「大学や区民と連携した」とあるが、現状を踏まえると、「大学や区民、商店街と連携した」としたほうがよいのではないかと。	第3章	実現の方策	本基本方針では、商店街との連携について、方策1 共存・MIXを維持するに記載しております。
23	3 実現の方策(2) について以下の案を提案する。 ・玉川通り南側において駅前広場等の整備 ・駅を中心とした同心円状に人、自転車のエリアを整備するなど、通過交通の分散化と南北の往来の円滑化 ・バス停を集約し、かつ駅とのアクセスの向上 ・空港やディズニーランド行きなどのバス発着も視野に検討 ・アーケードの活用など商店街から雨に濡れずに駅に入るルートの検討 ・駅から各学校の校門までの歩道や横断歩道・信号の整備、スクールゾーンの指定 3 実現の方策(2) について以下の案を提案する。 みどりの活用に関連し、烏山川緑道等にランニングロードの整備や近隣の銭湯などを活用したランニングステーションの整備 3 実現の方策(2) について以下の案を提案する。 「災害・犯罪に備え？」にすべきではないかと。 また、地震や木造建築物の密集に関連し、「敷地の細分化を防ぐ」旨も記載するとよいのではないかと。	第3章	実現の方策	本基本方針では、方策2 「シームレスな交通結節点の形成」、「出会いと交流の空間創出」、「災害に備え安全・安心と支えあいを育む」を掲げており、スムーズな移動・乗り換えの実現、新しいパブリックスペースの創出、まちの防災性の向上を目指してまいります。 今後策定する個別の方針や計画等において、まちづくりの具体的な取組みを検討し、まちづくりを進めてまいります。
24	(3)方針3方策 の「職住近接」に賛同する。	第3章	実現の方策	9と同じ

番号	意見の概要	大分類	中分類	区の方考え方
25	(3)方針3方策の「商業のグローバル化に対応したまちづくり」は具体的にわかりずらいため、「近隣の大型開発に対応した魅力的なまちづくり」などと記載を改めたほうがよいのではないか。	第3章	実現の方策	「商業のグローバル化に対応したまちづくり」は、今後三軒茶屋でも増加が見込まれる在住外国人や外国人観光客などに対応したまちづくりとして表現しております。
26	(3)方針3方策に以下の記述を追加すればよいのではないか。 ・高齢者や子育て支援の施設の充実 保育機能付きのサテライトオフィス、子どもの一時預け・園への送迎施設(病児保育を含む)、雨の時でも高齢者や子供が楽しめる施設、多目的トイレや授乳スペースなどの整備等	第3章	実現の方策	本基本方針では、方策3「「暮らす」と「働く」を両立する」を掲げており、新しい働き方を可能とする機能や、働き続けるための高齢者や子育ての支援機能の充実に取り組んでまいります。今回の方策においては、個別の施設整備について記載しておりませんが、区といたしましては、誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるまちの実現に向け、地域福祉の推進に努めてまいります。
27	(3)方針3方策に以下の記述を追加すればよいのではないか。 ・駅周辺の区施設を集約し、かつ利便性の向上。また、世田谷総合支所の再整備に合わせて三軒茶屋への誘致	第3章	実現の方策	本基本方針では、方策3「まちの機能をバランスよく高める」を掲げており、利便性の高い駅直近に機能の集約と用途の複合化を図ってまいります。今後策定する個別の方針や計画等において、まちづくりの具体的な取組みを検討し、まちづくりを進めてまいります。
28	・「東急世田谷線など」とあるが、地域資源への例示が不足しており、「東急世田谷線や沿線の寺社、各種イベント等」としたほうがよりよいのではないか。	第3章	実現の方策	現在、外国人観光客の増加で注目されている東急世田谷線を代表例として記載しており、ご意見の沿線における施設、イベントも含まれております。
29	市街地再開発準備組合の検討について記載があるが、検討状況がわからない。関係者の利益を追求した検討になっていないか不安であり、区からも指導してほしい。	その他	その他	現在検討されている市街地再開発事業の計画が、公益に資する計画となるよう、誘導してまいります。
30	年号は西暦と元号を併記するべきではないか。	全体	全体	新元号に向けた対応について、表紙を西暦による年表示とし、本文中の年表示は、参考資料の引用等もあることから、原則元号による年表示で統一しております。
31	「策定目的」について三軒茶屋が重要な位置づけであることをわかりやすくするため、数字を用いた表記がよい。	第1章	策定目的	本基本方針は、方針を示すための本編と、詳細なデータを示す参考資料に分け作成しております。三軒茶屋の現状分析において、基礎データを作成し、既存計画での位置づけ、まちづくりの動向、三軒茶屋の現状などをまとめて整理しており、方針全体として、三軒茶屋駅周辺のまちづくりの重要性を示しております。
32	方針の中に記載のある以下の計画を、本基本方針の位置づけや参考資料に記載すべきではないか。 「世田谷区ユニバーサルデザイン推進計画」	第1章	上位計画等との関係と本基本方針の役割	方針の位置づけには、主な方針・計画を記載しておりご意見の記載のない方針につきましては、三軒茶屋駅周辺のまちづくりの関連性を踏まえて、見直しを検討してまいります。

番号	意見の概要	大分類	中分類	区の方考え方
33	方針の中に記載のある以下の計画を、本基本方針の位置づけや参考資料に記載すべきではないか。 「男女共同参画プラン」 「多文化共生プラン」	第1章	上位計画等との関係と本基本方針の役割	三軒茶屋駅周辺に特に関連性の高い計画を参考資料としてまとめており、「多文化共生プラン」、「男女共同参画プラン」は参考資料にはございませんが、グローバル化による多文化共生や新しい働き方などを盛り込んでおります。
34	「本基本方針の計画期間」に年号を入れるべきではないか。また、都市整備方針の計画期間を併記すべきではないか。	第1章	本基本方針の計画期間	本基本方針の計画期間は都市整備方針の計画期間と連動したものではないため、併記しておりません。年号につきましては、必要に応じて随時方針の見直しを行うという考え方に基づき、記載しておりません。
35	世田谷ものづくり学校など創業に関する記述は、(2)「文化と交流」ではなく(1)「トレンドとレトロの共存」が適切ではないか。	第2章	まちの個性	特色、方策、まちづくりの視点の内容は相互に複数が関係しており、必ずしも1対1対応ではなく、特色、方針、方策、まちづくりの視点をそれぞれ検討した上で、方針を取りまとめております。
36	「インキュベーション(創業支援)施設」について世田谷ものづくり学校だけでなく、複数の施設を例示すべきではないか。	第2章	まちの個性	インキュベーション(創業支援)施設については、世田谷ものづくり学校を代表例として挙げ、特色としております。ご意見の施設については、参考資料 基礎データP54 公共公益施設等で整理しております。
37	「多世代を集める創造的な文化」について、「三茶de大道芸」などの界わい文化についての記述を入れるべきではないか。	第2章	まちの個性	本基本方針では、「三茶de大道芸」での商店街の取組みも含め、活力あるコミュニティの存在を特色のひとつとして整理しております。また、参考資料 の取組みの例示として、「広域から人を集める文化・芸術事業の実施・継続」において、「三茶de大道芸」の取組みを例示しております。
38	「2 都市基盤(1)空間」について、記載の追加を提案する。 ・タクシー乗り場について ・方策として示されたシームレスな接続に対応する文言 ・「南北が分断されており、まちの回遊性が損なわれている」 「2 都市基盤(1)空間」について、世田谷通りの一部では、アーケードが設置されているなど部分的に安全に移動できる空間があるため、その状況がわかる記載に修正すべきではないか。	第2章	都市基盤	本基本方針の検討において、三軒茶屋駅周辺の現状分析を行ない、駅周辺において特徴的な内容を3つの特色に整理しております。本編での特色についての記述は代表的な内容を挙げており、都市基盤では、「古くから交通の要衝にありながら、公共的な空間、動線が不足している」を課題のひとつとして整理し、代表例として、狭い歩道のバス停留所付近での混雑や、回遊できるバリアフリー動線が十分確保されていない点を挙げております。
39	特色と方策の項目立てが対になっておらず、修正すべきではないか。	第2章	今後の可能性	35と同じ

番号	意見の概要	大分類	中分類	区の方え方
40	「共存・MIX」について、「生活工房 市民活動支援コーナー」や「世田谷ボランティアセンター」の新旧産業共存につながる起業・創業支援の取組みとして方策に記載するべきではないか。	第3章	実現の方策	本基本方針では、方策3 「暮らす」と「働く」を両立するを掲げており、希望する人々が起業しやすく、多種多様な事業が生まれる環境の充実などを目指してまいります。今後策定する個別の方針や計画等において、まちづくりの具体的な取組みを検討し、まちづくりを進めてまいります。
41	「界わい文化」について、特色で挙げられた「人見記念講堂」「世田谷パブリックシアター」及び図書館を「地域に親しまれる文化施設、公共施設等」の例示として記載し、特色と方策の内容を対にした方がわかりやすくなるのではないか。	第3章	実現の方策	35と同じ
42	「交通」について、バス停留所及びタクシー乗り場についての記載を追加し、特色と内容を対にしてわかりやすくすべきではないか。	第3章	実現の方策	35と同じ
43	雨などを気にせず安全に移動できる歩行者動線であるアーケードについての記載もするべきではないか。	第3章	実現の方策	本基本方針では、方策2 「シームレスな交通結節点を形成する」の中で、スムーズな移動・乗換えの実現を掲げております。今後策定する個別の方針や計画等において、まちづくりの具体的な取組みを検討し、まちづくりを進めてまいります。
44	「新しい働き方」について、「オフィス」、「業務拠点」の記載がなく、特色と内容を対にしてわかりやすくすべきではないか。「土地利用」について、まちづくりの視点として挙げている「持続可能な都市経営」を内容を対にした記載にするべきではないか。	第3章	実現の方策	35と同じ
45	「魅力」について、「新しいライフスタイルや文化を創造・発信する機能を強化する」具体的な例示として図書館などを記載すべきではないか。	第3章	実現の方策	本基本方針では、方策3 「人を呼び込む魅力をつくる」を掲げており、新しいライフスタイルや文化を創造・発信する機能の強化を目指してまいります。今後策定する個別の方針や計画等において、まちづくりの具体的な取組みを検討し、まちづくりを進めてまいります。
46	「まちづくりの視点」について、第2章の特色や第3章の方策の順番等を踏まえて以下の順番としたらよいのではないか。 (1) 公民連携・地域連携 (2) ダイバーシティ (3) 安全・安心 (4) 持続可能な都市経営 (5) グローバル・ローカル	第3章	まちづくりの視点	特色、方策、まちづくりの視点の内容は相互に複数が関係しており、必ずしも1対1対応ではなく、特色、方針、方策、まちづくりの視点をそれぞれ検討した上で、方針を取りまとめております。まちづくりの視点は、三軒茶屋駅周辺においてその優先度を踏まえ、項目の順序を決定しております。

番号	意見の概要	大分類	中分類	区の考え方
47	(1)「持続可能な都市経営」について、三軒茶屋の拠点性の持続可能性について言及しているが、住居系よりも非住居系を優先して「三軒茶屋駅周辺の拠点性」を確保する必要があると記載する必要がある。	第3章	まちづくりの視点	三軒茶屋駅周辺地区は、都市整備方針において、拠点ごとの特性に応じて、様々な機能を充実させる広域生活・文化拠点として位置づけており、本方針では、交通の要衝としての強みを活かしながら、まちの個性を継承・強化していくとともに、交通結節点の形成や空間の創出など基盤の整備を進め、新たな魅力を育て機能を高めていくゾーンとして、「Crossingゾーン」を定めております。ご意見の非住居系を優先した拠点性の確保など、今後の具体的なまちづくりにつながる内容については、今後策定する個別の方針や計画等において検討を行い、まちづくりを進めてまいります。
48	(3)「ダイバーシティ(多様性)」について、「多文化共生」に言及しているため、参考資料として「多文化共生プラン」を載せるべきではないか。また、新しい働き方、職住近接などの記載とともに男女共同参画について記載を追加し、参考資料として、「男女共同参画プラン」を載せるべきではないか。	第3章	まちづくりの視点	33と同じ
49	(5)「公民連携」について、公共施設機能の再編の具体例として、老朽化した下馬図書館を再開発に合わせて、三軒茶屋駅前に移転することを念頭に、本基本方針に記載すべきではないか。	第3章	まちづくりの視点	本基本方針では、方策3「人を呼び込む魅力をつくる」、「まちの機能をバランスよく高める」を掲げており、新しいライフスタイルや文化を創造・発信する機能の強化や駅直近における機能の集約と複合化を目指してまいります。今後策定する個別の方針や計画等において、まちづくりの具体的な取組みを検討し、まちづくりを進めてまいります。
50	また、方策で「鉄道事業者との連携」と記載しているが、この項には文言がないため、内容を対にしてわかりやすくするために「地域や鉄道事業者と連携した運営の仕組み等」と記載すべきではないか。	第3章	まちづくりの視点	公民連携の中に鉄道事業者との連携も含まれていると考えております。
51	方針1の「界わい文化」という言葉は、一般的ではないため、表現の修正もしくは、説明が必要ではないか。	第3章	実現の方策	本基本方針では、特色1で示した三軒茶屋のまちの魅力を界わい文化と表現しております。
52	【(5)戦略的な公民連携の推進】の中で、「少子高齢化による税収不足」とあるが、「将来の人口減少に伴う税収不足」とするほうが正しいのではないか。	第3章	まちづくりの視点	世田谷区は、人口増加の中で、少子高齢化の進展に伴う社会保障費等の歳出の増加、生産年齢人口比率の減少による歳入の減少が見込まれ、さらに区の公共施設の更新需要が今後30年間に集中するなど、人口減少の前から財政上取組むべき課題があることから、まちづくりの視点として記載しております。

番号	意見の概要	大分類	中分類	区の方考え方
53	Crossingゾーンにおいては、まちの個性を強化することで、交通結節点の形成や空間の創出などの基盤整備、新たな魅力の育成を阻害する可能性があるのではないか。	第4章	機能イメージ	本基本方針である「まちの個性を継承・強化する」は、三軒茶屋らしい空間やバランス、多世代を集める文化・歴史を継承するとともに、まちづくりにおける様々な主体との連携や交流を促進し、コミュニティの強化を図るとしており、現在の三軒茶屋をそのまま残すという考え方ではないため、ご意見の交通結節点の形成や空間の創出などの基盤整備、新たな魅力の育成との両立は可能であると考えております。また、商業共存ゾーンも同様にまちの個性を継承・強化しながら、新しい魅力と連携していくゾーンとして位置づけたところです。ご意見を踏まえ、ゾーンの名称、説明文等の内容を表現も含め検討いたします。
54	西友やNTT東日本がある街区は、既存の用途地域においても商業地域に含まれているため、Crossingゾーンに含めるべきではないか。	第4章	機能イメージ	機能イメージのそれぞれのゾーンは、おおよその範囲として示しております。現行の用途地域、今後の土地利用の方向性を踏まえ、見直しいたします。
55	玉川通り沿道ゾーンにおいては、前出する昭和女子大学や、地域資源である世田谷公園などの周辺施設との連携を深めることで、新たな魅力の育成につなげていくべきではないか。	第4章	機能イメージ	本基本方針では、方策1「コミュニティを維持し強化する」、方策2「出会いと交流の空間を創出する」、方策3「人を呼び込む魅力をつくる」を掲げており、大学との連携や、新しいパブリックスペースの創出、地域資源を活かした観光の推進などを進めてまいります。今後策定する個別の方針や計画等において、まちづくりの具体的な取組みを検討し、まちづくりを進めてまいります。
56	【第4章 具体的な取組みに向けて】に関しては、事業者との連携を誘導するにあたり、高度利用化や都市計画手法の適用など、適切な施策が必要だと考えている。今後検討の余地があると思うが、手法についても言及できないか。	第4章	具体的な取組みに向けて	本基本方針の機能イメージの中で、今後のまちづくりを進める中で住宅地と商業地の近接を課題として捉え、バッファゾーンを示しました。今後策定する個別の方針や計画等において、まちづくりの具体的な取組みを検討し、まちづくりを進めてまいります。